

主要産地における令和6年産水稻の生育状況等について 第9報 (令和6年7月1日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和6年7月1日)

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考) 令和6年産の品種構成の情報
		生育状況等	生育状況等		
北海道	(生育)	(7月1日現在)	(全道) 生育は平年並に進んでいる。(北海道農政部 7月5日付)	【全国】今後、秋にかけて平年の状態が持続可能性もあるが(40%)、ラニーニャ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。(気象庁 7月10日付)	・「なつぼし」及び「ゆめひりか」を中心とする品種構成となっている。主要品種に大きな変化はみられない。  (農水産省 令和6年3月12日)  (出典資料は以下同じ)
		(生育)	(空知) 生育は平年並である。(北海道空知総合振興局 7月5日付) (石狩) 生育は平年並である。(北海道石狩振興局 7月5日付) (後志) 作物の生育は平年並から平年より早く進んでいる。(北海道後志振興局 7月5日付) (渡島) 生育は平年並から平年より早く進んでいる。(北海道渡島総合振興局 7月5日付) (日高) 高温多湿により生育は順調である。生育の進捗は平年より早い。(北海道日高振興局 7月5日付) (渡島) 気温が高く、生育は平年並である。(北海道渡島総合振興局 7月5日付) (釧路) 生育は平年並で推移。(北海道釧路総合振興局 7月5日付) (上川) 生育は平年並である。(北海道上川総合振興局 7月5日付) (留萌) 生育は平年並に進んでいる。(北海道留萌振興局 7月5日付) (オホーツク) 生育は平年並である。(北海道オホーツク総合振興局 7月5日付)		
青森	(生育)	(7月10日現在)	・「はれわたり」は草丈が67.3cmで平年より1.6cm短く、株当たりの茎数は32.1本で3.8本多く、葉数は10.3葉で0.3葉多かった。 ・「まっしぐら」は草丈が69.0cmで平年より3.2cm長く、株当たりの茎数は31.2本で0.4本少なく、葉数は10.7葉で0.6葉多かった。 ・「青天の霹靂」は草丈が69.8cmで平年より3.0cm長く、株当たりの茎数は24.2本で3.7本少なく、葉数は9.8葉で0.3葉多かった。  (地独) 青森県産業技術センター-農林総合研究所 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月13日～8月12日 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「まっしぐら」を中心とする品種構成となっている。「青天の霹靂」「はれわたり」が増加傾向となっている。
		(生育)	【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)		
岩手	(生育)	(7月5日現在)	・北上・軽米ともに6月第6半旬及び7月1半旬は気温が平年並～やや高く推移したことから生育ペースは6月25日時点より緩慢となっている。茎数は北上で平年比110%(6/25:115～121%)と平年を上回っているが、軽米では平年比86%(6/25:108%)となっており、平年より早く最高分け時期に到達したと推察される。 ・生育ステージは、平年並～やや早く(平年差-2～±0日)に種分化期に到達している。  (岩手県農業研究センター 7月8日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月13日～8月12日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。従来のオリジナル品種である「磐河しずく」が、耐病性、耐倒伏性に優れていることから増加傾向となっている。
		(生育)	【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)		
宮城	(生育)	(7月1日現在)	・吉川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は55.3cm(平年比112%)、1㎡当たりの茎数は686本(平年比108%)、葉数はGM値が40.8(平年差-0.9)、葉数は8.8枚(平年差+0.3枚)となっており、平年と比較して茎数は多く、葉数はやや多くなっている。宮城県農政部みやぎ米推進課 7月2日付) (石巻) 生育は順調、草丈は長く茎数は平年並、葉数は多い。生育の進んでいる区画では幼穂形成期に達している。(宮城県石巻農業改良普及センター 7月4日付) (塩釜) 1㎡当たり茎数は、幼穂形成期の目標茎数を確保している。(宮城県塩釜農業改良普及センター 7月4日付) (美郷) 移植水稻は、草丈・茎数が多い傾向で、晩生品種の「つや姫」を含めたすべての調査品種で有効茎数を確保している。(宮城県美郷農業改良普及センター 7月3日付) (栗原) 管内の「ひとめぼれ」については、若穂では平年と比べ草丈は長くなっており、茎数は少なくもなっている。 また一帯では平年と比べ、草丈は平年並となっているが、茎数・葉数はともに少なくなっている。(宮城県栗原農業改良普及センター 7月2日付) (大沢原) 令和5年度に品種特長が早まる事が予測される。(宮城県大河原農業改良普及センター 7月3日付) (仙台) (移植栽培「ひとめぼれ」)草丈は56.3cmで平年並、葉数は33.7でこの時期の目安(40前後)の範囲内となっている。茎数は55本/m <sup>2</sup> で平年(47本/m <sup>2</sup> )よりやや多い状況。(宮城県仙台管区気象台 7月2日付) (大崎) 6月第2半旬以降は根圏高温多湿で経過したことから、生育は平年より進んでいる。環境平均値は、草丈・葉数及び葉色は平年を上回り、茎数は96%でほぼ平年並。6月連休中に移植した区画では幼穂が確認され、まもなく幼穂形成期に達する見込み。晩熟移植区画ではようやく茎数が目標数に達している。 (宮城県大崎農業改良普及センター 7月2日付) (登米) 管内の生育調査場の「ひとめぼれ」については、草丈・茎数ともに平年を上回って推移しているが、葉色は平年を下回っている。晩熟品種の「ひとめぼれ」は、草丈が伸び、茎数も増加している。「たて正男」は、草丈が平年をやや上回っているが、茎数・葉色は平年を下回っている。「金のいぶき」は、草丈が概ね平年並、茎数は平年を上回っている。田植えの早かった「つや姫」、「つきあがり」調査ほや「ひとめぼれ」(登米町)も有効茎数を確保しており、中干しの時期に入っている。(宮城県登米農業改良普及センター 7月2日付) (気仙沼) 6月は高温で推移したため、根圏温度が平年となっている。(宮城県気仙沼農業改良普及センター 7月2日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月13日～8月12日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
		(生育)	【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)		
秋田	(生育)	(7月5日現在)	【移植栽培】定植調査の生育概況 ・各地域調査による調査(7月4日)では、「あきたこまち(県内64地点)」は平年に比べ草丈は長く、葉数は多く、葉緑素計値は平年並であった。茎数は県北と県南は平年並で中央はかなり多く、ほ場間差は依然としてみられる。「ひとめぼれ(県央8地点)」は、平年に比べ草丈は長く、茎数と葉色は平年並であり、葉数は多い。  【直播栽培】全県の生育概況(温水)「あきたこまち」 ・草丈43.2cm(平年比103%)、1㎡当たり茎数628本(同99%)、葉数8.8枚(平年差+0.7枚)、葉緑素計値42.7(平年比100%)となっている。 平年に比べ、草丈および葉数は平年並、葉数は多く、葉緑素計値は平年並となっている。  (秋田県 7月10日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月13日～8月12日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		(生育)	【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)		
山形	(生育)	(7月10日現在)	・早田町(はえぬき)の生育は、草丈はやや長く、茎数は平年に比べてやや少なく、葉数はやや多く、葉色がやや濃くなっている。 農業総合研究センターの調査によると、出穂期はやや早い予想。(山形県農林水産部農業技術課 7月10日付) ・「響若」の生育は、平年並に比べ、草丈がやや長く、茎数・葉数は多く、葉色がやや濃いとなっている。 農業総合研究センターの調査では、出穂期は平年並からやや早い予想となっている。(山形県農林水産部農業技術課 7月10日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月13日～8月12日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が増加傾向にある。
		(生育)	【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)		
福島	(生育)	(6月4日調査)【農業総合センターにおける水稻の生育状況】	・「コシヒカリ」の生育調査では、平年に比べて、本部(郡山市)は草丈が長く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっている。  ・会津地域研究所(会津坂下町)は、草丈が短く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっている。  ・浜地域研究所(相馬市)は、草丈が平年並、茎数が多く、主稈葉数が0.3葉多くなっている。  (福島県農林水産部農業振興課 6月10日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月13日～8月12日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が定着している。
		(生育)	【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)		
茨城	(生育)	(水戸市) (5月1日移植) (7月1日現在) (茨城県農業総合センター-農業研究所作物研究室 7月4日付)	・幼穂長から予測される出穂期は「あきたこまち」で7月13日、「ふくまるS-L」で7月14日、「コシヒカリ」で7月23日である。	【向こう1か月の天候の見通し】7月13日～8月12日 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」の作付け移行が進んでいる。
		(生育)	(龍ヶ崎市) (4月27日移植) (7月5日現在) (茨城県農業総合センター-農業研究所水田利用研究室 7月9日付)	・今後気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は、「あきたこまち」で7月6日頃、「ふくまるS-L」で7月10日頃、「コシヒカリ」で7月20日頃である。「あきたこまち」は、草丈がやや高く、茎数が少なく、葉色が平年並である。「ふくまるS-L」及び「コシヒカリ」は、草丈が平年並、茎数が少な、葉色がやや濃く、	
栃木	(生育)	(生育概況) (6月21日調査)	<早稲コシヒカリ> ・草丈：那須野では長いが全体的には前年よりやや短い(95%) ・茎数：塩谷前那須、上野管内でやや少ないが、全県平均では前年よりやや多い(104%) ・葉数：全県的に前年並 ・葉色：全県的に前年並 ・高さ：全県的に前年並 ・高さ：全県的に前年並  <早稲ともぎの穂> ・草丈：宇都宮市、農研センターで前年並み。さくら市、真岡市は前年より短い。 ・茎数：真岡市で少ないが、他の地域では前年をかなり上回っている。全体的には前年より多い(前年比114%) ・葉色：葉色では農研センターでは濃い、全体的には前年より多い(+0.4)	【向こう1か月の天候の見通し】7月13日～8月12日 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が増加傾向にある。
		(生育)	<早稲ともぎの穂> ・草丈：宇都宮市、農研センターで前年並み。さくら市、真岡市は前年より短い。 ・茎数：真岡市で少ないが、他の地域では前年をかなり上回っている。全体的には前年より多い(前年比114%) ・葉色：葉色では農研センターでは濃い、全体的には前年より多い(+0.4)	【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	

千葉	<p>(生育状況等)</p> <p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月20日に移植した「コシヒカリ」「けすけ」は6月20日頃、5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月25日頃に幼穂形成期を迎えている。いずれの品種も幼穂形成期が年より3日程遅くはなっている。</li> <li>現在の「コシヒカリ」の生育は、草丈が年並みで、茎数がやや多く、5月1日現在は葉色がやや濃く推移している。</li> </ul> <p>(生育) (千葉県農林水産部 6月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多く、日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、ツマグロヨコバイ結実結病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」「みずかがみ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品種「けすけ」の本格栽培が開始</p>
新潟	<p>(7月10日現在)</p> <p>(新発田) 「コシヒカリ」長草で葉色が濃い稲葉。出穂期は年より2日程早まる見込み。(新潟県農業普及指導センター 7月11日付)</p> <p>(新潟) 「コシヒカリ」指標値に比べ、草丈「やや長」、茎数「並」、葉数「やや遅」、葉色「濃」。(新潟県農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(新之助) 指標値に比べ、草丈「長」、茎数「並」、葉数「遅」、葉色「濃」。出穂期予想は8月10日で近年比やや早い。(新潟県農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(三条) 「コシヒカリ」指標値に比べ、草丈「長」、茎数「早」、葉色「濃」。(三条農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(長岡) 「コシヒカリ」草丈が長く、茎数多く、葉色は濃い傾向。(ほ場開きあり)出穂期は平均地では8月2日頃の見込み。(長岡県農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(十日町) 「コシヒカリ」生育状況は、草丈「長い」、茎数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「濃い」。出穂期は前年並に早くなると予想される。(十日町農業普及指導センターほか 7月10日付)</p> <p>(上越) 「コシヒカリ」「こいぶき」ともに出穂期は年並となる見込み。「コシヒカリ」では、草丈は長く、葉色がやや濃くなっている。(上越県農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(佐渡) 「コシヒカリ」曇天傾向が続いたため草丈が伸び、葉色は濃くほ場開きが大きい状況。出穂期は「年より2日程早い」見込み。(佐渡県農業普及指導センター 7月10日付)</p> <p>(7月1日現在の県内全域の生育概況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」では指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「長い」、茎数は「やや多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「並」の状況。</li> <li>「新之助」では指標値に比べ、草丈は「長い」、茎数は「やや多い」、葉数の進みは「並」、葉色は「濃い」状況。(新潟県農林水産部 7月2日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「こいぶき」を中心とする品種構成で、近年高温多湿でも品質が安定している「あきたこまち」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の付付拡大を推奨している。</p>
富山	<p>(7月2日 生育観測値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「てんたかく」 年並に比べ、草丈は並、茎数はやや多く、葉色は濃く、葉齢は0.4遅進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、年並に比べ、草丈は並、茎数はやや多く、葉色は濃くなっている。今後、年並の気温で推移した場合、出穂期は年より1～1日早い7月10日頃と見込まれる。</li> <li>「コシヒカリ」 年並に比べ、草丈、茎数、葉齢は並、葉色はやや濃くなっている。幼穂形成期は、年並に比べ1日早い7月10日頃と見込まれる。</li> <li>「てんこもり」 年並に比べ、草丈は長く、茎数、葉色は並、葉齢は0.5遅進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、年並に比べ、草丈は並、茎数はやや多くなっている。幼穂形成期は、年並に比べ2日早い7月10日頃と見込まれる。</li> <li>「富富富」 近年に比べ、草丈は長く、茎数はやや多く、葉色は濃く、葉齢は0.2遅進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈はやや長く、茎数はやや多く、葉色は並となっている。幼穂形成期は、近年に比べ1日早い7月10日頃と見込まれる。</li> </ul> <p>(富山県農業技術課 7月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも品質が安定している「あきたこまち」及び「てんこもり」県内のトップブランドに値上げしている「富富富」が増加傾向にある。</p>
石川	<p>(生育)</p> <p>・「コシヒカリ」 年並に比べ、草丈、茎数、葉齢は並、葉色はやや濃くなっている。幼穂形成期は、年並に比べ1日早い7月10日頃と見込まれる。</p> <p>・「富富富」 近年に比べ、草丈は長く、茎数はやや多く、葉色は濃く、葉齢は0.2遅進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈はやや長く、茎数はやや多く、葉色は並となっている。幼穂形成期は、近年に比べ1日早い7月10日頃と見込まれる。</p> <p>(富山県農業技術課 7月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル品種の「ひやまの穂」が増加傾向にある。</p>
福井	<p>(生育)</p> <p>・農業試験場の5月2日に移植した「ハナエゼン」の幼穂形成期は年より1日早い6月26日となった。</p> <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 7月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハナエゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
長野	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定点圃場の「あきたこまち」の幼穂形成期は7月2日で、年より4日早。また現地からは、5月1日前後に田植えされた「コシヒカリ」が幼穂形成期になったとの情報が入っている。</li> <li>7月4日気象庁発表の1か月予報でも、平均気温は高い確率90%で、期間のはじめは、気温がかなり高くなると見込まれているため、今後の気温が年より2度高いとなるとして確定的な結果、生育進捗は「あきたこまち」「コシヒカリ」で年より4～6日早く、出穂期もかなり早まる(昨年並)と予測された。</li> </ul> <p>(松本農業農村支援センター 7月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多く、日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風まよか」の導入を推進している。</p>
滋賀	<p>(生育)</p> <p>(農業技術振興センター 水稲作況調査 6月20日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は、「みずかがみ」は年よりやや短く、「コシヒカリ」は年並であった。</li> <li>茎数は、「みずかがみ」は年並、「コシヒカリ」はやや少なかった。</li> <li>葉色は、「みずかがみ」は年よりやや濃く、「コシヒカリ」は年並であった。</li> <li>主根葉は「みずかがみ」は年より多く、「コシヒカリ」はやや少なかった。</li> <li>6月25日現在、「みずかがみ」「コシヒカリ」は幼穂形成期(幼穂1.0mm)に達していないが年並～やや早い時期となる見込み。</li> </ul> <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多く、日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月のいもち病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「白鳥」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付けが推進されている。</p>
兵庫	<p>(生育)</p> <p>(6月28日現在)</p> <p>【県北】「コシヒカリ」の草丈はやや高く、茎数はやや少なく、葉数の進展は年並。遅繰えでは、草丈は高く、茎数はやや少なく、葉数の進展は早い。</p> <p>【県北以外】草丈はやや高く、茎数は年並。葉数の進展はやや早い。</p> <p>(兵庫県農林水産部 7月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多く、日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月のいもち病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「ヒノヒカリ」、「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。</p>
岡山	<p>(生育)</p> <p>・雑早生種の生育は概ね年並である。</p> <p>(岡山県 6月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多く、日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウカカの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島	<p>(生育)</p> <p>・雑早生種の生育は概ね年並である。</p> <p>(岡山県 6月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多く、日照時間は、ほぼ年並みの見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並みが多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウカカの発生が多いと予想される。(農林水産省 7月10日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</p>

(生育状況等)			
愛 媛	<p>(7月8日現在)『ひめの雫』(愛媛県農林水産研究所内水田ほ場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月14日移植、移植後 25 日時点での茎数は 15.2 本/株で、昨年と同程度。</li> </ul> <p>(愛媛県農林水産研究所 7月9日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 7月13日～8月12日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの雫」への品種変更が定着してきている。</li> </ul>
高 知	<p>(6月月報)</p> <p>【早期稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生育：並</li> <li>・生育ステージは例年に出べや早いものの、草丈および分けつ数は概ね平年並で推移している。</li> <li>・出穂時期は前年品種で昨年より1週間ほど早く、「コシヒカリ」では平年並～やや早いと見込まれている。</li> <li>・出穂前のほ場において斑点米カメムシ類の発生が確認されており、斑点米等への影響が懸念される。</li> </ul> <p>【普通期稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生育：並</li> <li>・畝間順調に生育している。</li> </ul> <p>(高知県病害虫防除所 7月5日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 7月13日～8月12日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は7月19日頃からかなりの高温。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</li> </ul>
福 岡	<p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植え後、気温がやや高く経過したため、活着は順調で草丈・茎数は平年並。ウンカ類の発生は確認されていない。</li> <li>・4月下旬稲刈の出穂期は7月上旬頃で、平年並の見込み。</li> </ul> <p>【普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗期の天候は良好に経過しており、苗の生育は概ね順調。</li> <li>・現在、実収後のほ場でも田植えが始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上旬中、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。</li> </ul> <p>(福岡県農林業総合試験場 6月23日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 7月13日～8月12日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は7月18日頃からかなりの高温。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月トビイロウンカの発生が多いと予想される。 (農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>
熊 本	<p>(6月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後。</li> </ul> <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 7月13日～8月12日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は7月18日頃からかなりの高温。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウンカの発生が多いと予想される。 (農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</li> </ul>
宮 崎	<p>(6月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後。</li> </ul> <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 7月13日～8月12日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月17日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウンカの発生が多いと予想される。 (農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</li> </ul>
鹿 児 島	<p>(6月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後。</li> </ul> <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 7月13日～8月12日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月17日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウンカの発生が多いと予想される。 (農林水産省 7月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</li> </ul>

注1：園及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を基に集約・整理し、掲載している。  
注2：生育状況等(出穂後等)の資料については令和6年7月11日 16時30分時点での取り纏め。  
注3：資料更新は最新で示した。

引用資料:

農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道農政部 7月5日)、  
農作物生育状況(7月1日現在)(北海道空知総合振興局 7月5日)、  
農作物生育状況(7月1日現在)(北海道石狩総合振興局 7月5日)、  
農作物生育状況(7月1日現在)(北海道後志総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道胆振総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道渡島総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道日高総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道釧路総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育状況(7月1日現在)(北海道十勝総合振興局 7月5日)、  
農作物生育状況調査の概要(7月1日現在)(北海道留萌総合振興局 7月5日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況(7月1日現在)(北海道オホーツク総合振興局 7月5日)、  
水稲作況調査(7月10日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 7月10日)、  
令和6年度水稲生育定期調査結果No.4(7月5日現在)(岩手県農業研究センター 7月8日)、  
令和6年度水稲の生育状況について(7月1日現在)(宮城県 7月2日)、  
令和6年度仙南稲作情報(第3号)(宮城県大河原農業改良普及センター 7月3日)、  
令和6年度稲作情報第4号(宮城県亶理農業改良普及センター 7月4日)、  
仙台稲作情報2024(第3号)(宮城県仙台農業改良普及センター 7月2日)、  
登米地域の稲作通信第5号(宮城県登米農業改良普及センター 7月2日)、  
大崎稲作情報第5号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月2日)、  
令和6年度美里地区の稲作情報第5号(宮城県美里農業改良センター 7月3日)、  
栗原の稲作通信令和6年度第5号(宮城県栗原農業改良普及センター 7月2日)、  
稲作情報vol.5(宮城県石巻農業改良普及センター 7月4日)、  
令和6年度気仙沼・南三陸稲作情報第5号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 7月2日)、  
作況ニュース(第5号)(秋田県農林水産部 7月10日)、  
雪若丸 技術情報 No.6(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 7月10日)、  
米づくり技術情報 No.13(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 7月10日)、  
主要な農作物の生育情報令和6年度第3号(令和6年6月10日現在)(福島県 6月10日)、  
農研連報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月9日)、  
農研連報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月4日)、  
水稲生育診断速報2024No.3(栃木県農政部経営技術課 6月27日)、  
水稲の生育状況と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月27日)、  
水稲の生育状況と今後の管理対策(第4号)(新潟県農林水産部 7月2日)、  
令和6年度新発田地域水稲生育速報No.5(新潟県新発田農業普及指導センター 7月11日)、  
稲作速報No.5(新潟県新潟農業普及指導センター 7月10日)、  
新之助情報 No.2(新潟県新潟農業普及指導センター 7月11日)、  
FAX稲作情報No.7(新潟県三条農業普及指導センター 7月10日)、  
水稲生育速報(新潟県長岡農業普及指導センター 7月10日)、  
十日町地域稲作生育速報(新潟県十日町農業普及指導センター---十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 7月10日)、  
令和6年度上越地域米コンヒカリ・こしいぶき生育速報No.5(新潟県上越農業普及指導センター 7月10日)、  
令和6年度稲作生育速報No.5(新潟県佐渡農業普及指導センター 7月10日)、  
TACS情報第6号(富山県 7月2日)、  
稲作情報No.11(水稲レベルアップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 7月5日)、  
令和6年度作物技術普及情報第12号(水稲の生育状況他について)(松本農業農村支援センター 7月5日)、  
令和6年度稲作生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月26日)、  
令和6年度兵庫県農業気象技術情報第3号(7月情報)(兵庫県 7月8日)、  
令和6年度病害虫発生予報第4号(岡山県 6月27日)、  
2024年度「ひめの環」の生育状況(愛媛県農林水産研究所 7月9日)、  
令和6年度病害虫発生予報6月月報(高知県病害虫防除所 7月5日)、  
主な農産物の生産状況(令和6年6月14日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 6月23日)、  
令和6年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月27日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月11日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月11日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月11日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月11日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月11日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月11日広島地方気象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月11日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月11日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月11日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月25日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月25日気象庁)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月25日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日広島地方気象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月25日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月25日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(7月11日14時30分)(気象庁)、

エルニーニョ監視速報(Na.382)(気象庁 7月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第4号(農林水産省 7月10日)、  
令和6年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)